

## 【子どもたちの声】

「新型コロナウイルス感染症がアフリカの子どもたちに与える影響」報告書より

エチオピアの小学4年生のナシールさん（12歳）は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校になりましたが、セーブ・ザ・チルドレンの移動図書館の本を読んでいます。学校に通うことはできていませんが、移動図書館があるため、家で読書や学習を続けることができています。



「学校の友だちに会いたいです。何度も友だちのことを考えます。新型コロナウイルス感染症が流行する前、学校がある日は給食を食べることができていました。でも、今は学校がないので給食も止まっています。またすぐに給食が始まって欲しいです。

村の子どもたちを代表して、お願いがあります。私たちが衛生環境を保ち、感染症から身を守るよう、安全な水と石けんを欲しいです。私は、ただこの感染症が収束し、学校が再開されることを望んでいます。勉強をして、いつかエンジニアになり、家族を支えていきたいです。」

ナシールさん（12歳）・エチオピア

\*\*\*\*\*

「私はまた勉強がしたいです。

男子も、女子も、今は家の手伝いをしています。

男子はヤギや牛の世話をしたり、女子は料理をしたり、お母さんの手伝いをしています。

私はこの感染症に対して、色々な気持ちがわきおこります。」

ヤコル・ホスさん（14歳）・南スーダン

\*\*\*\*\*

「私はこの感染症が好きではありません。  
感染症の拡大によって、キャンプでの活動がしばらく中止になり、遊ぶ機会がなくなりました。  
こどもひろばで他の友だちと会えないので、不安です。  
今は家から出られないので、1日中家に居て、いつもお母さんの家事を手伝っています。  
みんな、他のテントの子どもたちと遊ぶと、新型コロナウイルス感染症に感染すると言っています。」  
ハウワ・フサイニさん（女性）

\*\*\*\*\*

「感染予防のために手を洗わなければいけないことを知っていますが、ここでは水がとても不足し、石けん  
を手に入れることも、とても難しいです。」  
ナシールさん（12歳）・エチオピア東部ソマリ州